

議 題

《 報 告 事 項 》

- 1 芦屋市赤十字奉仕団街頭募金活動について (こども福祉部福祉室)
 - ・実施日時 1月27日(土) 午前10時～11時
 - ・実施場所 JR芦屋駅北側ペDESTリアンデッキ他(2か所)
 - ・参加者 日本赤十字社芦屋市地区地区長 高島市長
芦屋市赤十字奉仕団戎井委員長、奉仕団役員等、事務局職員 計7名
 - ・募金総額 83,485円
 - ・取扱い 日本赤十字社を通じ「令和6年能登半島地震災害義援金」として被災地にお送りした。

- 2 令和6年能登半島地震職員派遣報告について (都市政策部都市基盤室)
 - *詳細は別添の通り

令和 6 年能登半島地震 職員派遣報告(避難所運営支援)について

- 1 派遣日程 令和 6 年 1 月 20 日(土)から 1 月 25 日(木)
- 2 派遣先 石川県 珠洲市
- 3 従事者 DX 行革推進課職員 1 名、総務課職員 1 名
- 4 内容 避難所運営支援
- 5 活動内容
 - 7:35 トイレ掃除(各市の職員が自発的に実施)。
 - 7:50 体育館 全体ミーティング。
 - 9:00 避難所 10 箇所の巡回。
各所で代表の方に、避難人数・要望等をヒアリングし、義援物資を配布。
 - 12:30 避難所巡回を終え体育館に帰着。報告書を作成し、昼食。
 - 14:20 他の地区を巡回。
 - 17:30 体育館に到着。休憩後、順次夕食。
 - 20:00 翌日の巡回について、資料を確認。
- 6 避難所の状況
 - 避難所は、落ち着いている。
 - 責任者が統率しており、生活に必要なものは行き渡っている。(足りないものは補充されている)
- 7 避難所の環境
 - 通信は使用可能。電気は一部使用不可。
 - 水道・下水・ガスは使用不可。
 - 避難スペースはエリアで区切られている避難所とそうでないところがある。
避難所責任者の差配によるものと思われる。
 - 避難所責任者は、職員のところと地域の代表のところがある。
 - 体調不良者は見られなかった。
 - 1月22日から学校が始まっており、避難者の心理面にも変化があるかもしれない。
- 8 生活環境の状況
 - 各避難所に、D-MAT(災害急性期に活動できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム)や日本赤十字、保健師が巡回している。
 - 規模の大きな避難所には、炊き出しやお風呂の支援も行われている。
 - 避難所の物資は充実しており、今週中に、今後の見通しについて、市からの説明会が予定されていると聞いた。
 - インフラの復旧は、ほとんど行われていない。
 - 建物の被災判定は、ほとんど終わっているようである。
 - 現時点で仮設トイレは不足している状況ではなく、し尿処理も行われている。

9 現地状況

- 地震の被害、津波の被害、両方の被害など地区によって様子は様々で、とてもショッキングな状況もあった。
- 市道は道路陥没があっても、明示されていない箇所がほとんどで、幹線道路だけは、段差を碎石で擦り付けている状態であった。
- 建物の除去は、進んでいない。
- 水道工事はまだ仮復旧も進んでいない。各地から給水車で支援はされている。
- 電気の工事は、各所で行われている。
- 通信は、docomo や楽天など、アンテナを備えた車が、各所に停められている。

10 派遣先の事務

- デジタル化されていた。
各市で、無線対応のパソコンを持ち込み、共通のファイルで、ヒアリング内容を取りまとめていた。
- 県・市職員で、連絡手段をグループ化しており、それぞれの巡回内容や連絡事項を共有していた。

11 支援について

- 支援体制は、カウンターパート等、マニュアル化されており、スムーズな受け入れができるようになっている。
- 南あわじ市のトイレカーや、養父市のランドリーコンテナのように、特殊な機能を持つ車両は、とても喜ばれていた。

12 今後の派遣について

- 現場の様々な情報を収集することは難しい。また、状況が日々変わっており、情報は新しいことが大事である。
- 派遣先の環境を想定して、十分な装備でいく必要がある。
- 県と連携して派遣することは、被災地との調整が少なくなる面でとても有効である。
公用車で赴くか、石川県でレンタカーを借りる等現場での機動力を単独で確保できるようにしておく必要がある。

以 上







珠洲市 状況		※石川県本部会議資料(1/29 16時)等より
避難所	45	
避難者数	1517 ※減	
避難所状況	内閣府が手配したパン、トイレトペーパー、子ども用ミルクを珠洲市へ配送(トラック協会の協力) 内閣府が手配したパン、アルファ化米、飲料水、内閣府が手配したパン、アルファ米、飲料水、簡易トイレを陸上自衛隊のヘリ、海上自衛隊の艦艇により、珠洲市(野々江総合公園、狼煙地区、高屋地区、大谷小中学校、日置ハウス)に配送	
1.5次避難所(県内合計)	3	いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)、石川県産業展示館(金沢市)、小松市総合体育館(小松市)
1.5次避難所避難者数(県内合計)	297 ※増、累計1258人	
2次避難所(県内合計)	172 ※増、受け入れ可能数1090施設(県内外)	
2次避難所避難者数(県内合計)	3992 ※増、累計4606人(受け入れ可能数30861人)	
集団避難	102名(1月21日(日)から金沢市匠王山スポーツセンター)	※地元の記事に、1年生24人、2年生46人、3年生32人と記載(1/21)
高校生を対象とした2次避難所	珠洲市を含む能登6市1町に在住の生徒で生活環境等の確保の観点から避難が必要な高校生。1月15日～当面の間、70名程度が避難	
人的被害	死者101名 ※増(うち災害関連死6名)、負傷者249名(軽傷47名・重傷202名含む) ※安否不明者は4名	
住家・非住家被害	4852(全壊・半壊・一部損壊まとめて表記) ※増、(珠洲ビーチホテル 1/2から一般宿泊者の受け入れ停止)	
高齢者施設の被害状況	6(施設一部損壊4、ガス1、断水1)	
障がい者関係施設の被害状況	2(断水・施設一部損壊)	
火葬場	珠洲市市営斎場(設備一部損壊により自施設での火葬不能)	
停電情報	約1400戸 ※減	
断水状況	約4800戸(ほぼ全域:一部の小規模施設エリアで解消)	
水道の復旧対応	浄水施設の被害状況確認・修繕 ※県資料にはずっと記載がありました。参考に追加しました。	
水道の復旧時期の見込み(仮復旧)	2月末～一部地域で仮復旧の見込み。以降順次拡大。一部地域は4月以降となる見込み	
廃棄物処理関係	能登地域の焼却施設・し尿処理施設等 計9施設が使用不可、避難所のごみ回収支援が5日から、し尿の回収は3日から行われている	
産業廃棄物の置き場	設置に向け、環境省と連携し石川県が指導・助言を実施中 ※輪島市は2/1から戸別回収開始	
生活ごみ	全国清掃事業連合会のごみ収集車を派遣	
※項目として追加	→ 珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町、中能登町 ※県内事業者のごみ収集車の派遣台数の増及び各市町の一時集積場の設置による効率化 ※焼却について、県内・福井県において広域処理	
し尿の処理	避難所等からのし尿の回収のため、県内事業者(県産廃物事業協同組合)、日本環境保全協会のバキュームカーを派遣(1月3日～)	
※項目として追加	→ 珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町	
携帯電話の復旧状況	立ち入り困難地点(輪島市・珠洲市の17地区の一部に存在)を除き、応急対応による仮復旧が概ね終了 立ち入り困難地点については、原則、道路開通後3日以内に仮復旧見込み	
孤立集落の状況	なし ※1/21解消 ※石川県内の孤立集落は実質的に解消。その他、被災地域全域に要支援集落等が存在。石川県は引き続き支援。	
森林関係	山腹崩壊3件(珠洲市正院町川尻、岡田、飯塚)、ブルーシートの設置や土砂撤去、現地調査は対応済	
応急仮設住宅	303戸(着工済)	
応急危険度判定	※2月6日には珠洲市の応急仮設住宅が40戸完成見込み(本部会議での知事発言より) 実施4600(危険2686、要注意1168、調査済746) ※1/21終了	
学校の始業	珠洲市内の小中学校でも一部、始業済、登校開始済の学校がある	
学校の被害状況	11校(校舎・運動場・廊下境界部破損等)	
金沢から珠洲までの移動	【県管理道路】 通行止め27路線(※減) 65箇所(※減) のと里山海道(徳田大津IC～穴水IC) ※徳田大津IC～横田IC(金沢→輪島)緊急車両等通行可 (国)249号 珠洲市真浦町など 【自動車専用道路】 通行止め 能越自動車道(穴水IC～のと里山空港IC、のと里山空港IC～のと三井IC(金沢→輪島)) ※今週末(2/3,4)をめどに能越自動車道「のと里山空港ICから穴水IC」の輪島方面の通行止めを解除予定(本部会議での知事発言より)	
能登地区のバス	【路線バス】 北鉄能登バス 一部路線を除き運行 北鉄奥能登バス、能登島交通 再開時期未定 能登島交通 1月末から一部路線で運行再開予定 【特急バス】 1/25(木)から北陸鉄道グループが、金沢駅から穴水駅経由で、 輪島市、珠洲市、能登町をそれぞれ往復する無料の特急バスを運行	
応援派遣の状況	避難所運営 珠洲市192名(1/21時点)、浜松市、福井県、千葉県、山梨県、兵庫県、千葉県、神戸市、熊本 1月28日までに197名が現地入り	
被災ペットの対応	・ 県獣医師会が被災地に獣医師を派遣。避難所を巡回し、ペットに関する相談等に対応 ・ 県獣医師会で被災ペットの一時預かり支援を実施 ・ いしかわ総合スポーツセンターにトレーラーハウスを活用したペット飼育スペースを設置 (ペットの管理、世話は飼い主で実施) ・ 県獣医師会が、ペット専用移動診療車による被災地での診療活動及び健康相談を開始(1/28～)	
その他	● 珠洲市はまだ、ボランティアニーズ調査中の市町に記載がない(会議資料32ページ) ※輪島市が1/25会議資料にてニーズ調査中の市町に追加 ※一般ボランティアの募集・活動状況:穴水町、七尾市、志賀町は1/24(水)募集開始、1/27(土)活動開始 ● 警報・注意報等の発表基準の運用について 珠洲市を含む7市町では洪水警報・注意報の発表基準(流域雨量指数基準)を7割に引き下げている。 珠洲市を含む14市町では土砂災害警戒情報及び大雨開放・注意報の発表基準を引き下げて運用しており、珠洲市は通常基準の7割で運用されている。 ● 石川県災害救助犬協会との協定に基づき、珠洲市に対し災害救助犬の派遣を要請(石川県危機管理担当) ● 神戸市の会社が珠洲市に4機、コンテナ診療所を設置 ● 県資料P45「保健医療福祉調整本部会議による支援機関との情報共有・調整」より 珠洲市内の歯科診療所の再開の目的が立っていないため、珠洲市内で歯科治療を行うことについて検討中	